

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成31年3月7日 (2019.3.7)

【公表番号】特表2018-508627(P2018-508627A)

【公表日】平成30年3月29日 (2018.3.29)

【年通号数】公開・登録公報2018-012

【出願番号】特願2017-543353(P2017-543353)

【国際特許分類】

C 0 9 J 7/20 (2018.01)

C 0 9 J 201/00 (2006.01)

B 3 2 B 27/00 (2006.01)

B 3 2 B 27/36 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 7/02 Z

C 0 9 J 201/00

B 3 2 B 27/00 L

B 3 2 B 27/00 1 0 1

B 3 2 B 27/36 1 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成31年1月25日 (2019.1.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 主面及び第 2 主面を有する基材と、
前記第 1 主面上に配置された感圧接着剤と、
前記第 2 主面上に配置されたシリコンカーボネートポリマーを含む剥離層と、を含む物品。

【請求項 2】

前記第 1 主面及び前記第 2 主面のうちの 1 つ以上がプライマー層を含む、請求項 1 に記載の物品。

【請求項 3】

前記基材が非セルロース系材料を含む、請求項 1 に記載の物品。

【請求項 4】

前記非セルロース系材料が、ポリメチルメタクリレート、エチレンビニルアセテートコポリマー、アクリレート変性エチレンビニルアセテートコポリマー、エチルアクリル酸コポリマー、ポリエチレンテレフタレート及びナイロンのうちの少なくとも 1 つを含む、請求項 3 に記載の物品。

【請求項 5】

前記非セルロース系材料が、ポリエチレン、ポリプロピレン、及びポリエチレンテレフタレートのうちの 1 つ以上を含む、請求項 4 に記載の物品。

【請求項 6】

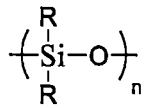
前記基材がポリイミドを含む、請求項 3 に記載の物品。

【請求項 7】

前記シリコンカーボネートポリマーが、式 (I) の構造を有する少なくとも 1 つのシ

リコーン部分を含み、

【化 1】



(I)

式中、各 R は、独立して有機部分であり、n は前記少なくとも 1 つのシリコーン部分の重合度であって、1 以上である、請求項 1 に記載の物品。

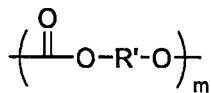
【請求項 8】

前記少なくとも 1 つのシリコーン部分が、ポリジメチルシロキサンを含む、請求項 7 に記載の物品。

【請求項 9】

前記シリコーンカーボネートポリマーが、式 (II) の構造を有する少なくとも 1 つのカーボネート部分を含み、

【化 2】



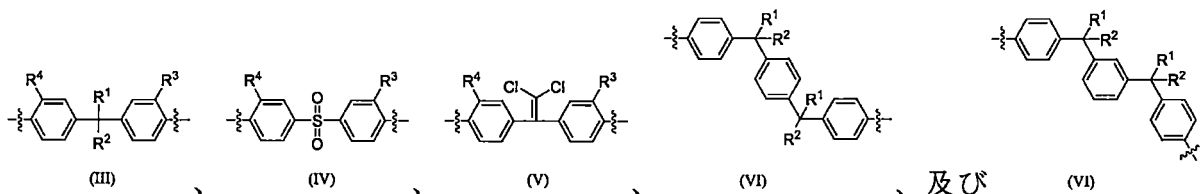
(II)

式中、R' は炭化水素ジラジカル又は芳香族ジラジカルであり、m は前記少なくとも 1 つのカーボネート部分の重合度であって、1 以上である、請求項 1 に記載の物品。

【請求項 10】

R' が、式 (III) ~ (VI) のジラジカル

【化 3】



からなる群から選択され、式中、

R¹ は、H、C₁ ~ C₄ アルキル、C₁ ~ C₄ フルオロアルキル、C₁ ~ C₄ ペルフルオロアルキル、又はフェニルであり、かつ

R² は、H、C₁ ~ C₄ アルキル、C₁ ~ C₄ フルオロアルキル、C₁ ~ C₄ ペルフルオロアルキル、又はフェニルであるか、あるいは、

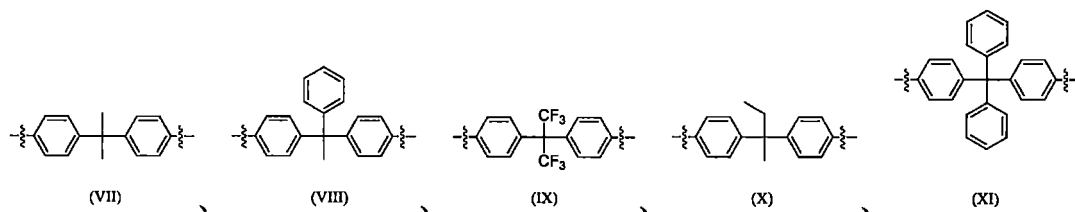
R¹ 及び R² は、互いに共有結合して、これらが結合している炭素原子と共に、シクロヘキシル、メチルシクロヘキシル、ジメチルシクロヘキシル、又はトリメチルシクロヘキシル又はテトラメチルシクロヘキシルを形成するか、のいずれかであり、

R³ は、C₁ ~ C₄ アルキル、フェニル、又は H であり、

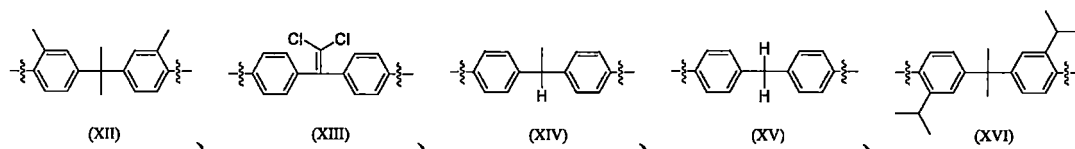
R⁴ は、C₁ ~ C₄ アルキル、フェニル、又は H である、請求項 9 に記載の物品。

【請求項 11】

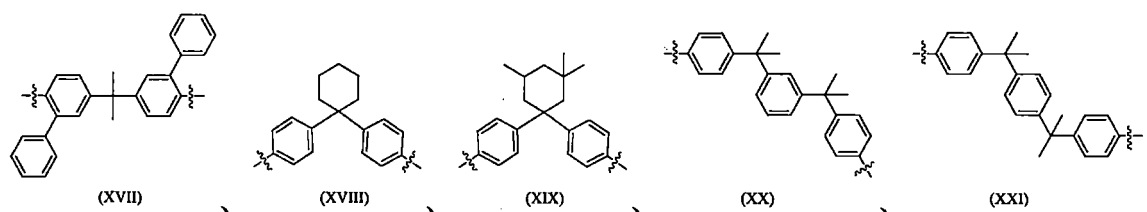
R' が、式 (VII) ~ (XXI) のジラジカル
【化 4】



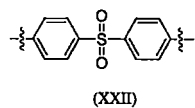
【化 5】



【化 6】



【化 7】



からなる群から選択される、請求項 10 に記載の物品。